

ボランティア情報 にじ

編集・発行：川西市社会福祉協議会ボランティア活動センター・川西市ボランティア連絡協議会

～赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動～

| | 赤い羽根共同募金 | 歳末たすけあい運動 |
|-----|-------------|-------------|
| 目標額 | 9,340,000 円 | 6,300,000 円 |
| 実績額 | 7,207,789 円 | 5,033,496 円 |
| 昨年度 | 8,746,364 円 | 5,984,013 円 |

皆さまのご協力、ありがとうございました。
地域福祉を推進するための貴重な財源として活用させていただきます。



令和3年度 兵庫県ボランティア
市民活動災害共済の受付開始 (3/1～)

安心してボランティア活動したいという皆さまに
保険の加入をお勧めします。
保険は市民活動災害型(500円)と天災型(600円)の
2種類あり、期間は4/1～翌年3/31です。

令和2年度

県民ボランティア活動助成の締切迫る！

エントリーされた団体の皆さま、助成金交付
申請手続きはお済みですか。
ボランティア活動センターへの最終提出期限は
4月1日(木)です。早めにお手続きを！！



「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」のご案内とQ&A

万が一の事故の備えとなるボランティア活動者のための保険「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」です。
普段のボランティア活動中での事故への補償に加え、令和2年度には『新型コロナウイルス感染症への補償』の
拡大がありました。今一度確認をしておきましょう。今回のQ&Aはコロナ関連です。

| 区 分 | 市民活動災害共済プラン | 天災危険保障プラン |
|---------|--------------|-------------|
| 通院保険金日額 | 4,200 円 | 3,600 円 |
| 入院保険金日額 | 9,000 円 | 7,500 円 |
| 死亡保険金 | 15,500,000 円 | 9,000,000 円 |
| 掛 金 | 500 円 | 600 円 |

Q1. 自宅療養やホテルでの隔離の場合、保険金は支払われるか？

A1. 医師の指示のもと、自宅やホテル（隔離先として指定されている）などの施設で
療養する場合は「入院」しているものとみなし、保険金をお支払いします。
（新型コロナウイルスに罹患している場合に限る）

Q2. 活動中に罹患したかどうかの判断はどのように行うか？

A2. ボランティア活動前後の感染者の行動を確認し、ボランティア活動以外で
他感染者との接触がないかなど総合的に状況を分析し、保険会社が判断を行います。

※ボランティア活動中にボランティア自身が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に補償されます。



もしかして、困っている??

お手伝いしましょうか?

困っている方を見かけて声をかけようと思ったけれど、どのように声をかけたら良いのか分からず立ち止まった経験はありませんか? 今回は目の不自由な方への声のかけ方です。

目の不自由な方が電車ホームから転落する事故が起っています。

周りの人の声かけがあれば、事故を防ぐことができるかもしれません。声をかけるのは勇気がいるかも知れませんが、命に関わることです。気がついたら、ためらわずに声をかけましょう。



お手伝いしましょうか?

大丈夫です。

お願いします。

どういうお手伝いをしたらいいのが直接、ご本人に聞きましょう。

「大丈夫です」と言われたら「お気をつけて」と一言添えて離れましょう。声をかけられた方のペース・事情があります。離れた所から見守って、安全を見届けましょう。

神戸アイライト協会が発行している「目の不自由な方の駅での安全のために」というとても分かりやすいチラシをご紹介します。(当協会の許可を得ております。) 神戸アイライト協会では、ボランティア募集もしていますので、関心のある方は連絡してください。

兵庫県 公共交通機関と連携した視覚障害者の安全確保実践研修事業

あなたのやさしさが、 駅ホーム事故を防ぎます



駅の安全対策として点字ブロック(視覚障がい者誘導ブロック)、ホームドア(ホーム欄)が、設置され改善されています。しかし目の不自由な人が、迷ったり、転落しそうになったり駅ホームでの危険がなくなったわけではありません。まわりの方の一声があれば迷わず安全に駅ホームを歩くことができます。ためらわないで、積極的に声をかける勇気を出しましょう。
(※くれぐれは裏面をご覧ください)

目の不自由な方の
駅での安全のために

注意

黙って手や体を持たない。
押したり、引いたりしない。
点字ブロックの内側(ホーム側)を歩く。
つまづきやぶつかりに気を付ける。

声かけ

正面に立って
「お手伝いしましょうか?」
と声をかける。
(気が付かないようなら肩に軽く触れてもう一度)

姿勢

介助者の腕・肩をもつなど、
希望する介助姿勢を確認する。

電車に乗る

どの電車、何両目、ドアの
位置を確認をする。
乗る直前で止まり、ドアの
前であることを伝える。

見えない方、
見えにくい方への
声かけと誘導
(個人差もあるので
確認してください)

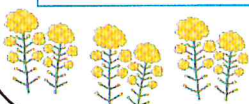


階段

階段、エスカレーター、エレベーターの
利用希望を確認する。
階段では、「下り(上り)階段です」と
階段直前で止まって伝える。
「階段終わりです」と段差の終わり到達直後に
止まって伝える。

お問い合わせは下記へ
専門のスタッフが、目の不自由な方へ安全な歩き方もお伝えします。

特定非営利活動法人 神戸アイライト協会
〒651-0067 神戸市中央区神谷通5丁目3番26号 中山記念会館内
☎ 078-252-1912 FAX 078-221-6029 ホームページ <https://eyelight.eeek.jp>



神戸アイライト協会 TEL:078-252-1912 FAX:078-221-6029

